



中野区立緑野中学校 学校便り

探求・創造・共生

令和 3年 4月 16日(金) 発行 第1号

「令和の日本型学校教育の構築を目指して」

校長 齊藤 久

154名の新入生をお迎えし令和3年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症対策など先行き不透明な予測困難な時代が今後も続きます。また、数年後には人工知能AIやロボット技術の開発が進み、人類がさらに快適な生活を送ることができる「Society 5.0」の時代が到来するとも言われています。「Society 1.0」は狩猟社会、「Society 2.0」は農耕社会、「Society 3.0」は工業社会、「Society 4.0」は情報社会です。

今年の1月末の中央教育審議会の答申では、**新学習指導要領の着実な実施を図りICTを活用しながら一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるようにすることが重要であると示されました。**そしてこれらの新しい時代が求める人材を育てるためには、諸外国から高い評価を得ている日本の学校教育で伝統的に指導してきた基本的な生活習慣の定着を図る指導や心の教育を基礎にしながら進めることが大切であると答申で示されています。

本校では今年度の新学習指導要領の本格実施に向け、昨年度より学習指導要領が円滑に実施できるように学習指導要領の改訂に関わった文部科学省の元教科調査官を校内研修会の講師として招聘し準備を進めてきました。新学習指導要領のキーワードである「**主体的・対話的で深い学び**」では、Withコロナにおける**3密を超えたアクティブラーニング**について、全国の小中学校で実績をあげている授業実践事例を紹介していただき授業改善に取り組みました。



さらに新学習指導要領に示されている評価の観点〔(1) 知識・理解 (2) 思考・判断・表現 (3) 主体的に学習に取り組む態度〕についてもご指導をしていただき共通理解を図り、令和3年度を迎えることができました。

4月14日(水)5校時に各学級で生徒それぞれが初期設定を行いアドレスを入力し**GIGAスクール構想の生徒一人一台端末(iPad)**を使用する準備にあたりました。ICTを有効活用させながら、個別最適な学びが進められるように指導方法を工夫し、生徒同士あるいは多様な他者と協働しながら生徒の学びを支え、**令和の日本型学校教育の構築**を目指してまいります。このような社会状況ではありますが、皆様、緑野中生の活躍や成長を期待してください。

〔経営目標〕 緑野中で学んだことが、明日、そして、将来につながる教育の実践

〔教育目標〕 探求 創造 共生

〔目指す生徒像〕 平和を愛し、創造性豊かで、主体的に行動できる、心身共に健康で、人間性豊かな生徒

- 〔目指す学校像〕
- (1) 生徒一人一人が大切にされる安全・安心な学校
 - (2) 主体的に学び・対話的な活動を通して学力が身に付く学校
 - (3) 自己肯定感を高め、将来の夢を育む学校
 - (4) 健康な体と豊かな心が育つ学校
 - (5) 保護者や地域に信頼される学校

探求

確かな学力

- ・主体的・対話的で深い学びを重視した授業展開
- ・学びに向かう力の育成

基礎学力の定着

- ・基礎的・基本的な技能の習得
- ・授業時間の確保と指導と評価の一体化

興味・関心を高める

- ・ICTの効果的な活用
- ・読書活動の推進
- ・補充教室、家庭学習の充実

創造

個性の伸長

- ・人権教育の徹底
- ・教育相談活動の充実
- ・自己肯定感を育む指導

学級活動の活性化

- ・望ましい人間関係の形成
- ・集団の一員としての自覚
- ・健全な生活態度の育成

緑野中文化の創造

- ・愛校心を育む行事の実施
- ・生徒会活動の計画的な運営
- ・異年齢集団の温かな交流

共生

道徳教育の充実

- ・道徳授業の確実な実施
- ・道徳の時間を要に生命の尊重、思いやりの心の育成

健康な心身の育成

- ・保体TT授業の充実
- ・食育・健康指導の推進
- ・体力向上の推進

コミュニケーション能力の育

- ・言語の活動充実（思考力、判断力、表現力）の育成
- ・ボランティア活動の推進

教職員の基本姿勢

- (1) すべては生徒のために（温かな人間関係を確立させ、生徒へ愛情をもつ教師）
- (2) 人間モデルとしての存在（挨拶は自ら進んで行い、優しさをもって接する教師）
- (3) 指導力向上を目指す（生徒のために常に研修に励み、自己の成長を目指す教師）
- (4) 家庭・地域との連携（教育公務員の自覚に基づいた行動ができる教師）
- (5) 働き方改革の推進（合理的に仕事を進め、心身共に健康な教師）